

施政方針

町長の姿勢について

山は乗り越えた／町長

問

① 公約の「融和、全国に誇れる町づくり」、合併協定項目、行政改革大綱、集中改革プランの達成状況を問う。
② 新町の庁舎の位置の決め方と組織運営を問う。

答

① 全国に誇れるような町づくりと融和を掲げて制度等の統一を図ってきた。ある程度山は乗り越えたと思う。
② 庁舎検討委員会で執行部案3カ所、委員会案5カ所の候補地で検討している。

下村町長

③ 財政運営を問う。
1、委員会及び、審議会などの設置数とその予算額と町単独の委員会や委託件数及び、補助対象件数とその予算額は、
2、辺地債は、指定外の場所ですらない。過疎債の枠が余っているのに事業実施しないのは何故か。
3、新消防署用地の買収は。

③ 1、委員会は22件、591万3千円。審議会7件、1億6037万7千円。
2、有利な起債制度があるからフルに使うという考えは毛頭ない。優先順位をつけて執行する。
3、用地取得は鋭意、用地交渉に取り組んでいる。



議員 昭三 矢野



住民福祉

町民生活について

国に働きかけている／町長

問

① 国保税が高い理由と改善策を問う。対策として、国に対し、医師の費用を負担するよう要望する考えはないか問う。
② 要介護者が増加しているが、町の介護方針を問う。

答

① 高齢化、高度医療等により、費用負担が増加しているが、19年度の国保税一世帯平均は、13万6千円。県の平均は13万9千円より安い。検診を行い早期発見、早期治療及び医療費の抑制に努める。
② 国への財政支援は、町村会等を通じて訴えている。

下村町長

② 高齢化率は34%を超過できる限り要介護状態に陥ることなく生活が送れるよう、地域で暮らせる環境づくりに努める。

環境問題

財源支援を要望せよ

国に訴えていく／町長

問

動植物の生態系を守り、CO₂削減に貢献している黒潮町への財源支援を、国に要望する考えはないか問う。

答

これから国へ訴えていこうと思っている。

下村町長

産業振興

1次産業への支援策は積極的に取り組む

／町長

問

① 堆肥施設への取り組を問う。
② イノシシ対策を問う。
③ 新規就農者の支援は。

答

この測量は進める必要があり、外注も視野に入れ検討を進めたい。

下村町長

地籍調査

進捗状況を問う

外注も視野に検討／町長

問

山林の地籍調査にいつ取り掛かるか。